

■出題傾向

「留学したいのですが、どんな勉強をしたらよいですか」、「大学では語学を専攻したいのですが、どんな勉強をしておけばよいですか」、「英語を話せるようになりたいのですが、何から始めたらよいですか」、これらは、日頃生徒たちが、英語科担当教員によく尋ねる質問です。私たちはこれらの全ての質問に対して、「中学英語の基礎をどこまで自分のものになっているかが問題だ」と答えています。この基礎がなければ、留学も、語学の修得も、また英語を話すことも、不可能に近いと言っても過言ではないと考えるからです。

高校の学習活動は、確実な基礎学力の上に、さらに英語力を伸ばすことを目標に行われています。このため、入試ではどこまで基礎学力を身に付けているかを確かめる問題を出題します。

- ・ 放送による内容把握についての聴解力問題
- ・ 内容把握を含む長文総合問題
- ・ 語順訂正による英文完成問題
- ・ 適語補充による英文完成問題
- ・ 適語補充による英文言い換え問題
- ・ 適語補充による対話文完成問題
- ・ 場面設定に応じた自由英作文問題

■解答分析

場面設定に応じた英作文の問題で、受験者によっては文法の理解力が不足していたように思われます。また、長文総合問題では、本文には使用されていない語を英文から類推する問題で、正解率が低くなる傾向がありました。日頃から文の構造を意識して英文に接すること、又、分析的思考力を高めることが大切です。

■学習アドバイス

中学校3年間の学習内容の定着と理解を更に深めておくことが望まれます。

次の文法項目の基礎的な学習を十分にしておくことが必要です。

- ・ 名詞：単数、複数、不可算名詞、人称と格
- ・ 動詞：動詞の活用、助動詞
- ・ 時制：現在、過去、未来、進行形、現在完了、時制の一致
- ・ 文の種類：平叙文、否定文、疑問文、付加疑問文、間接疑問文、命令文、感嘆文、受動態、比較の文
- ・ その他：不定詞、分詞、動名詞、形容詞、副詞、接続詞、前置詞、関係代名詞、熟語、語順、itの特別用法、会話表現

また英検3級程度の音声教材を十分に活用して、英語の音声に慣れておくことが大切です。